

平成30年度各部の重点取組

部(局)名	会計室
会計管理者	岩田 恵

【基本姿勢】

公金の支出内容が適正であるか審査するとともに、適正な執行・管理に努めます。
また、企業会計に準じた発生主義・複式簿記による財務諸表を活用し、従来からの官庁会計だけではわかりにくかった財政状態や行政運営にかかる財務情報を明らかにするとともに、市民にわかりやすく、積極的に開示していきます。

【重点課題】

1	適正な予算執行と公金の適正な管理
2	企業会計基準に準じた財務諸表の整備と財務情報の開示

【重点課題1】

適正な予算執行と公金の適正な管理

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

信頼性の高い市政の確立のために、予算の執行が法令を遵守し、適正に行われているかを厳正にチェックするとともに、公金の適正な管理、公正な会計事務の確保に努めます。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 予算の執行手続きが、法令等に基づき適正に行われているか審査するとともに、迅速な会計事務を行います。

② 公金管理は、安全性を最優先とし、指定金融機関の決済用預金に保管します。

イ 達成目標

① 日常の会計審査とともに審査事例の検証を行い、会計室職員の審査能力の向上を図り、より正確かつ迅速な会計事務を行います。

② 特定の目的のために積み立てている基金は、確実な運用に努めます。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	公金取扱指定金融機関等に対し、公金の取扱いについて検査を実施	会計室
イ	公金の管理・運営及び審査する会計室職員の能力向上に向けた外部研修への参加	会計室
ウ	各室課の経理担当者を対象に会計事務研修を実施	会計室

【重点課題2】

企業会計基準に準じた財務諸表の整備と財務情報の開示

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

事業の財務マネジメントの実践と説明責任のより一層の充実に資する財務諸表を整備し、財務情報を積極的に開示します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 新公会計システムにより、迅速かつ簡便に財務諸表を作成し、施設単位などで財務情報を比較分析することで、市民にわかりやすく説明します。

② 職員の財務諸表分析能力の向上を図るため、会計の専門家による研修を実施します。

イ 達成目標

① 前年度に引き続き、発生主義・複式簿記による財務諸表を平成29年度決算の参考資料として、議会に提出するとともに、本年度からは施設単位などの財務情報もホームページでも広く市民に開示します。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	管理職職員を対象に平成29年度財務諸表を使った財務諸表分析研修を実施	会計室
イ	新公会計制度実務担当者等を対象に事務処理研修を実施	会計室